

第 359 地区ローターアクトの問題点

前年度末より第 359 地区は分割して山梨、静岡の 2 県をもって第 362 地区、神奈川県 1 県をもって第 359 地区を構成することになった。従ってローターアクトも 2 地区に分れたため、33クラブから17クラブ、会員数 380 名と小型化し、いささか寂莫の感がないでもないが、それだけに状況が確実に把握出来ると考え、地区ローターアクト委員会並びにローターアクト地区組織、共に精力的に活動を開始している。

今年度山田宗圃ガバナーから御指示を受けた新設目標は 8 クラブ、即ち 60% の増強であるので、かなりきびしい目標であるといわねばならない。地区委員会はあらゆる機会を捉えて未提唱クラブに提唱を依頼しまた提唱の際のお手伝いを勤めたいと念願している。本年 11 月 17 日には未提唱クラブのローターアクト設立準備委員長にお集まり頂いて、会議を開き情報を得たいと考えている。幸いなことに既に 4 クラブ新設の報もあるので意を強くしている。

新クラブが設立された場合は、既設の新しいクラブを含めてローターアクト代表と共に情報提供等「地域ぐるみ」の援助によって育てて行かねばならないと考える。神奈川県は大都市型であるために青年子女は地元出身者が少なく、そのため地域社会に対する意識が低いことが指摘されている。この事は我々の大きな課題の一つである。

第 2 にローターアクト増強の問題、これは何れの地区においても大きな問題の一つである。

ローターアクトは年齢制限による退会、転勤、退職、結婚等によって退会する者が多く、ロータリーと異なり継続的に、絶えず増強の努力を払わねばならない。当地区

では既に前年度からそうであるが、クラブ数は増加しても、1 クラブ当りの会員数はやや減少の傾向を示している。会員増強はロータリアンの推薦、ロータラクターの推薦が望ましいと考えるので、今年度ロータリー側に対しては「1 ロータリアン、1 ロータクター」の標語を掲げて会員増強に御協力頂きたいと考えている。ローターアクトは常に新しい、とは新しい会員がいつも入っているという意味もあるのである。提唱クラブはこの点も御留意の上、育成に御努力頂きたいと思う。

次に大部分の優れたクラブ、また軌道に乗ったクラブの他に、一部においては会員増強、定款の遵守等の点で、やや弱体化しつつあるクラブがあることも事実のようである。この点については地区委員会、ローターアクト代表の協同により、全ローターアクトクラブを私的に訪問し正確なる情報を得ると同時に要すれば助言等を行ないたいと考えている。

次に、ロータリー、ローターアクトの数多い文献に殆んど、触れていないのは女子会員についてである。控え目な行動は日本女性の美点かも知れないが、ローターアクトの会合で、女子会員の発言は、一部を除いて活発とは言いがたい。当地区では新しい試みとして来年 2 月 9 日に行なわれるローターアクトの ICGF においては女子のみの部門別協議会を行なうことにしている。これにより女子会員のローターアクトに対する意識が更に高まれば幸いであるが初めてのことであるので成果は想像することが出来ない。この点については機会を見て御報告したいと考えている。

地区ローターアクト委員長 末永 直光